

March 18, 2020

**【前日の為替概況】ダウ平均&米10年債利回り上昇でドル全面高、107.86円、1.0955ドル**

17日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は107.70円と前営業日NY終値(105.83円)と比べて1円87銭程度のドル高水準。ドル調達コストがリーマン危機以来の高水準となる中、全般ドル買いの流れがこの日も続いた。米連邦準備理事会(FRB)が企業の資金繰りを抜本的に支援するため、企業が短期資金の調達に使うコマーシャルペーパー(CP)の購入を発表したほか、トランプ米政権が検討している総額1兆ドルの景気刺激策への期待からダウ平均が一時1200ドル近く上昇すると、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らぎ、円売り・ドル買いが進行。米10年債利回りが1.09%台まで上昇したこともドルの支援材料となり、107.86円まで値を上げた。ムニューシン米財務長官は「極めて大きな経済対策となる。米国民に小切手を直接送る施策を検討している」と述べ、現金給付を盛り込む考えを明らかにした。個人や企業の税金の支払いの先送りなども含まれ、経済対策の規模は1兆ドルになるという。

ユーロドルは反落。終値は1.0997ドルと前営業日NY終値(1.1183ドル)と比べて0.0186ドル程度のユーロ安水準。手元にドル資金を置いておきたい金融機関や企業のドル需要が高まる中、欧州時間に発表された3月独ZEW景況感指数が▲49.5と前月から大幅に悪化し2008年秋以来の水準に低下したこと、米長期金利の上昇に伴うユーロ売り・ドル買いも出て1.0955ドルと2月28日以来の安値を更新した。

ユーロ円は小幅続落。終値は118.44円と前営業日NY終値(118.47円)と比べて3銭程度のユーロ安水準。低調な独経済指標を受け、欧州経済の先行き不安からユーロ売りが進み、117.30円と日通し安値を付けた後、米国株の大幅反発を受けて118.66円付近まで下げ幅を縮める場面があった。

米ドルカナダドルは堅調。カナダ中銀(BOC)による追加利下げ観測を背景に米ドル買い・カナダドル売りが優勢となり、1.4277カナダドルと2016年1月以来約2年2カ月ぶりの高値を付けた。BOCは13日に緊急利下げを実施した際の声明で「必要なら金融政策をさらに調整する用意がある」と表明している。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、ドル流動性確保の買いと本邦勢のレパトリの攻防か**

本日の東京市場のドル円は、世界的なりセッション(景気後退)懸念による世界同時株安を受けたドルの流動性確保の動きを受けて堅調推移が予想される。

しかしながら、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)終息宣言が出されるまでは、ドルの上値は限定的だと思われる。

新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)を受けて、世界同時リセッション(景気後退)、世界同時株安の様相を呈し始めていることで、ドル流動性確保の動き、ドル需要が高まりつつあり、ドルは全面高の様相を呈し始めている。

さらに、米連邦準備理事会(FRB)による金融緩和、利下げ(▲1.00%)と量的緩和(7000億ドル)に加え、1.2兆ドル規模の景気刺激策が検討されていることも、ダウ平均の5%超の上昇や米10年債利回りの1.09%台までの上昇に繋がり、ドル買いに拍車をかけている。

しかしながら、ドル円の上値は、本邦機関投資家などによる3月の期末決算に向けたレパトリエーション(海外資産売り・円買い)で限定的か。ドル円の上値を抑える要因としては、米連邦準備理事会(FRB)によるゼロ金利と量的金融緩和策、原油価格の下落を受けた逆オイルショックの可能性、米国のリセッション(景気後退)入りの可能性などが挙げられる。

米国経済は新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)と逆オイルショックにより、リセッション(景気後退)入りがほぼ確実視されつつある。シェールオイル企業の採算価格は50ドル程度、最低採算価格も35ドル程度と言われており、現状のWTI原油価格30ドル割れでは、シェールオイル企業が資金調達しているジャンク債のデフォルト(債務不履行)懸念が高まりつつある。トランプ米大統領も夏頃のリセッション(景気後退)入りの可能性を示唆したが、米国の大統領選挙での再選に向けた選挙期間中に景気後退に陥った例は2回あるが、どちらも敗北している。

- ・1980年のカーター大統領：イラン革命による原油価格の高騰
- ・1992年のブッシュ大統領(父)：湾岸戦争による景気減速

ドル円のテクニカル分析では、200日移動平均線108.25円や一目均衡表・雲の下限108.97円が抵抗帯として上値を抑えている。

**【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間**

## &lt;国内&gt;

○08:50 ◎ 2月貿易統計（通関ベース、予想：季節調整前 9172 億円の黒字、季節調整済 5355 億円の黒字）

## &lt;海外&gt;

○17:00 ◎ 2月南アフリカ消費者物価指数（CPI、予想：前月比 0.8%／前年比 4.5%）

○19:00 ◇ 1月ユーロ圏貿易収支（季調済、予想：192 億ユーロの黒字）  
ユーロ圏貿易収支（季調前）

○19:00 ☆ 2月ユーロ圏消費者物価指数（HICP）改定値（予想：前年比 1.2%）

○19:00 ☆ 2月ユーロ圏 HICP コア改定値（予想：前年比 1.2%）

○20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数

○20:00 ◇ 1月南アフリカ小売売上高（予想：前年同月比 0.0%）

○21:30 ◎ 2月カナダ CPI（予想：前月比 0.4%／前年比 2.1%）

○21:30 ◎ 2月米住宅着工件数（予想：150.0 万件、前月比▲4.3%）

◎ 建設許可件数（予想：150.0 万件、前月比▲3.2%）

○23:30 ◇ EIA 週間在庫統計

○未定 ☆ ブラジル中銀、政策金利発表（予想：4.00%に引き下げ）

○米政権、対欧州連合（EU）への関税引き上げ発動

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

## 【前日までの要人発言】

17日 09:29 麻生財務相

「下方リスクに備えあらゆる政策手段をとる」  
 「為替について特に申し上げることはない」  
 「市場動向、動きをしっかりとみとっておく必要がある」  
 「市場動向に緊張感を持って、G7、G20 合意に沿って適切に対応する」  
 「ムニューシン米財務長官と電話会談を実施」  
 「適切な手段を用いる用意があることを再確認した」  
 「G7 財務相会合は早期に開催する必要があると発言した」

17日 14:41 黒田東彦日銀総裁

「本日の市場は少し落ち着いている」  
 「昨日決定した追加緩和をしっかりと実施していくことで市場の安定を確保したい」  
 「市場のリスクセンチメントが低下し、安全資産・現金に資金が移っている」

17日 15:52 ロシア中銀

「20日にオンラインで記者会見を開き、新型コロナウイルスが金融政策に与える影響を説明する」

17日 15:59 ルメール仏財務相

「経済支援策は450億ユーロ規模」  
 「株式市場は閉鎖せず、空売り規制など他にすべきことを実施」

17日 16:46 ショルツ独財務相

「欧州は経済刺激策で協調すべき」

17日 20:28 トルコ中銀声明

「新型コロナウイルスによるトルコ経済への悪影響を抑えるための政策を講じた」  
 「金融機関にトルコリラと外貨の流動性を柔軟に提供」  
 「企業への信用供与を維持するため、銀行への流動性を提供」

17日 23:38 クオモ NY 州知事

「新型コロナウイルスは45日でピークを付けると予想」

18日 00:50 トランプ米大統領

「ムニューシン米財務長官は上院議員と会談し、新たな景気刺激策について話している」  
 「経済は急速に回復することを信じている」  
 「国民に1人当たり1000ドル以上の支援を検討」

18日 01:06 ムニューシン米財務長官

「企業は最大1,000万ドルの納税を延期できるようにする」  
 「アメリカ合衆国内国歳入庁(IRS)は90日間の支払い延期に対して利息と罰金を請求しない」  
 「国民への支援金は2週間以内に支給することが可能」  
 「総額5000億ドルの国民支援を議員らに提案」  
 「今は財政赤字を心配する時ではない」  
 「上院議員と建設的な話し合いを持てた」  
 「議員は労働者と中小企業を心配している」

18日 02:20 スナク英財務相

「新型コロナウイルスは経済的に緊急性を要する」  
 「このような経済的な戦いに直面したことはない」  
 「今まで想像してきた以上のことを政府は経済を支えるために介入することを保証する」  
 「企業向けに3300億ポンドの保証付き融資を利用可能に」

18日 03:45 カシユカリ米ミネアポリス連銀総裁

「新型コロナウイルスの拡大が急に米経済の危機になった」  
 「ウイルス拡大は急速にリセッションに陥りはじめる」  
 「健康の危機であり、金融危機ではない」  
 「国民がレイオフになると経済が回復するために何年も必要になる」

18日 04:00 メルケル独首相

「EU 首脳は非加盟国からの入域禁止で合意」

18日 04:56 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁

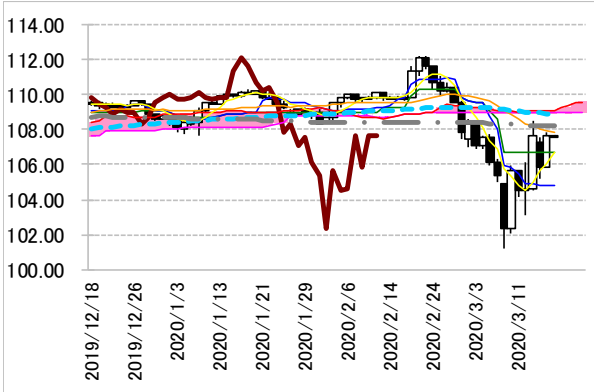
「新型コロナウイルスの衝撃は2008年の金融危機とは異なる」  
 「米政府とFRBは一致団結し新型コロナウイルスへできることをすべて行い、市場流動性を保つ」  
 「2つの使命(最大限の雇用と物価安定)へ回復の兆候が見られるまで、FRBは低金利を維持する」

18日 05:37 ボスティック米アトランタ連銀総裁

「リセッションは避けられそうな気がする」  
 「今のところ企業がレイオフをしたとは聞いていない」  
 「FRBの行動は現状できる最大限の刺激策を示すことだった」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕



### <ドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。毛抜き天井（112.23円・112.19円）から101.19円まで下落後、61.8%戻しで108.50円まで反発したものの雲が上値を抑えている。しかし、16日の陰線を抱き線で切り返しており、続伸が予想される。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

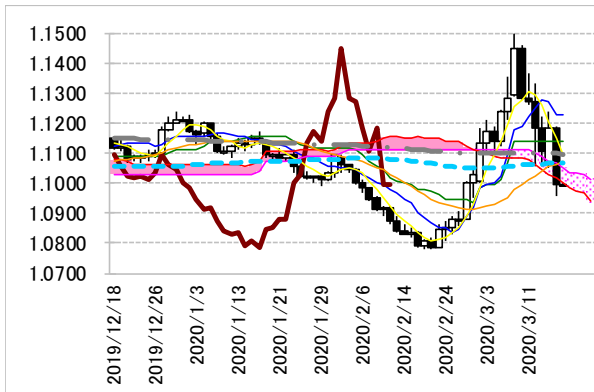
レジスタンス2 108.97(日足一目均衡表・雲の下限)

レジスタンス1 108.50(3/13 高値)

前日終値 107.70

サポート1 106.71(日足一目均衡表・基準線)

サポート2 104.85(日足一目均衡表・転換線)



### <ユーロドル＝雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

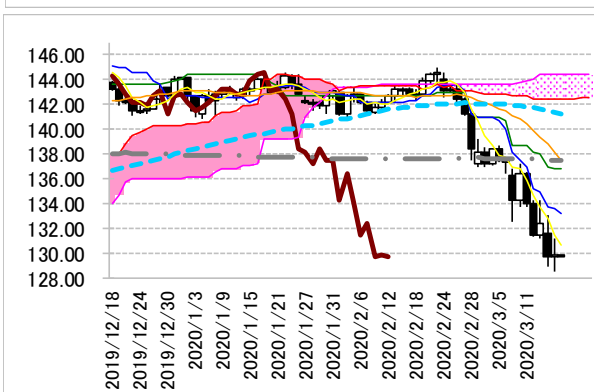
陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・雲の下、転換線を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 1.1052(日足一目均衡表・雲の上限)

前日終値 1.0997

サポート1 1.0878(2/27 安値)



### <ポンド円＝3/17 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

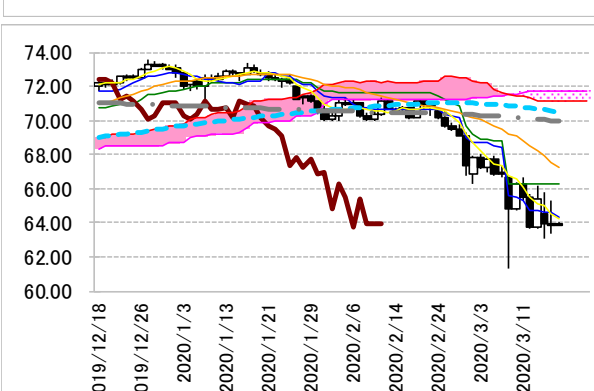
小陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかしながら、底値圏で寄り付き線的な小陽線で引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、3月17日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 131.23(3/17 高値)

前日終値 129.84

サポート1 128.60(3/17 安値)



### <NZドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかしながら、底値圏で寄り付き線的な小陰線で引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1 64.33(日足一目均衡表・転換線)

前日終値 63.95

サポート1 63.40(3/17 安値)

